

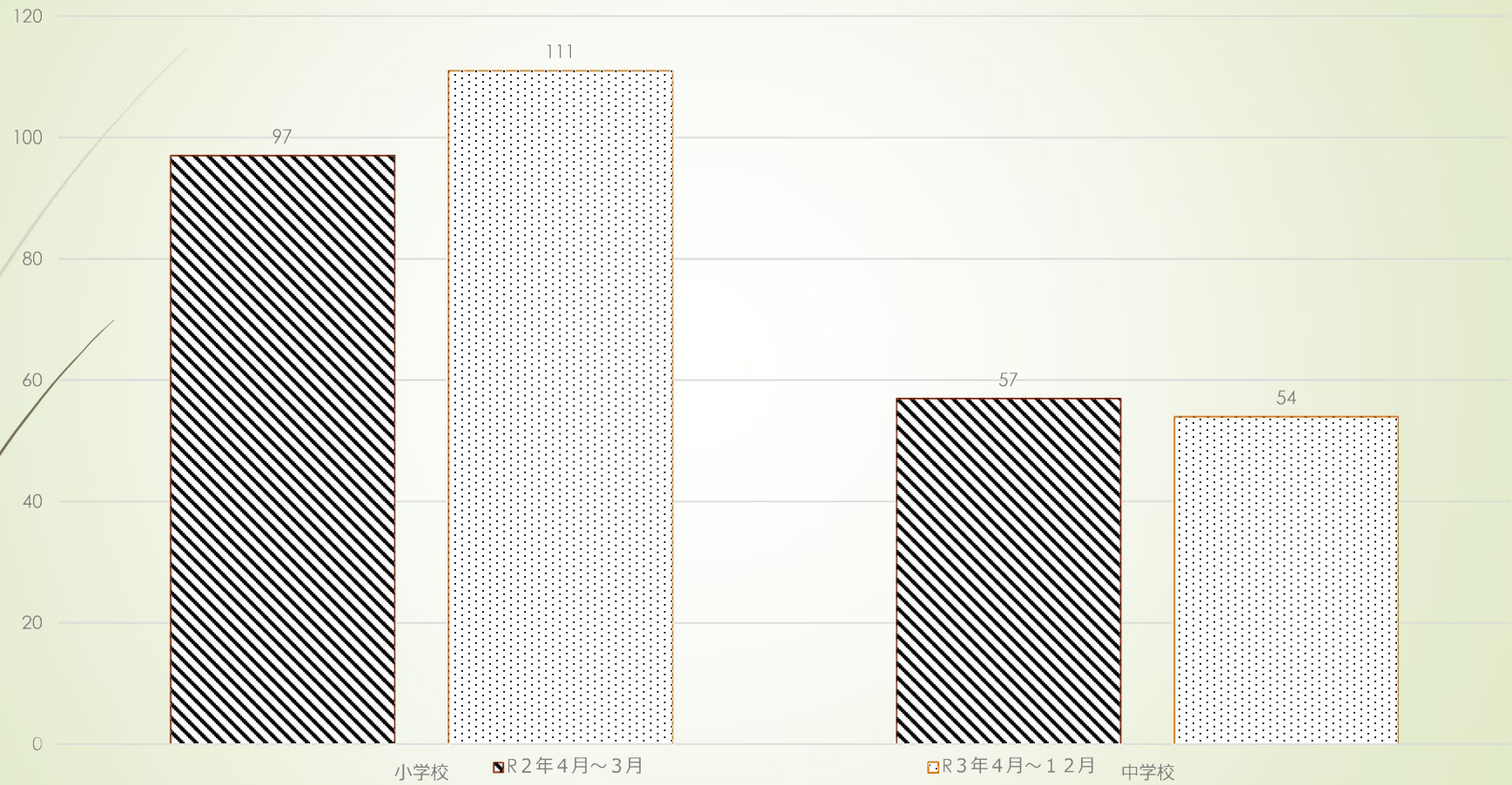
情報モラル支援員派遣事業



情報モラル出前授業

尼崎スマホサミット2021

SNSを介したいじめ件数





発見・認知が難しい いじめ

- ゲーム内でのトラブル
- タブレット内での書き込み
- 友達を無断で撮影して、グループ内で回す。
- グループ外し
- スタンプの連打
- 動画の拡散
- SNSでの匿名の誹謗中傷メッセージ


情報モラル支援員派遣～出前授業について～

- ▶ スマホやタブレットを所持する児童生徒が増えてきており、それに伴って情報端末機器を介したトラブルやネット内でのいじめ問題が起きている。市内に通う小・中学校の児童生徒を対象に、専門的知識を有する支援員を講師として派遣して、SNSをはじめとする情報モラルの向上と主体的にルールを考えていくことを目的に事業を行っています。
- ▶ ・小学校（４年生） ・中学校（２年生）
実施校：４９校（２月予定校も含む）
※受講する学年は、学校の実情に合わせている

尼崎スマホサミット2021について

- ▶ 尼崎市内に通う児童生徒たちによる、スマートフォン等の使用にかかわるルール作りに関して校種の枠をこえ小・中・高校生がともに考え、学びを深める事を目的としています。
 - 各学校でZOOMによる開催（コロナ対応）
 - 児童会、生徒会、有志



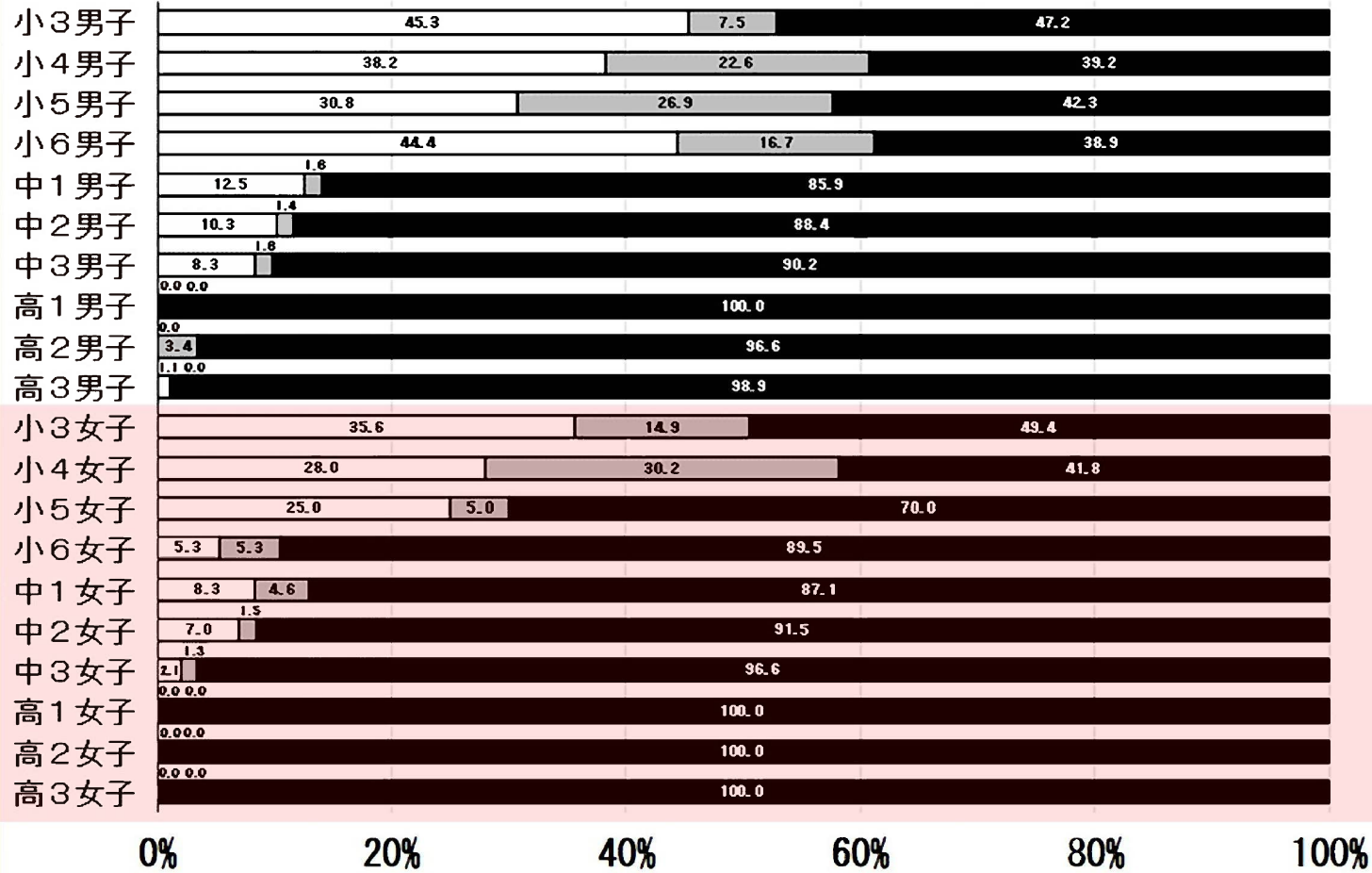


活動 ①ワークショップ

- ▶ 4214人の児童生徒アンケートを実施して、市内の現状や課題の共有

攜帶電話所持率%

不所持



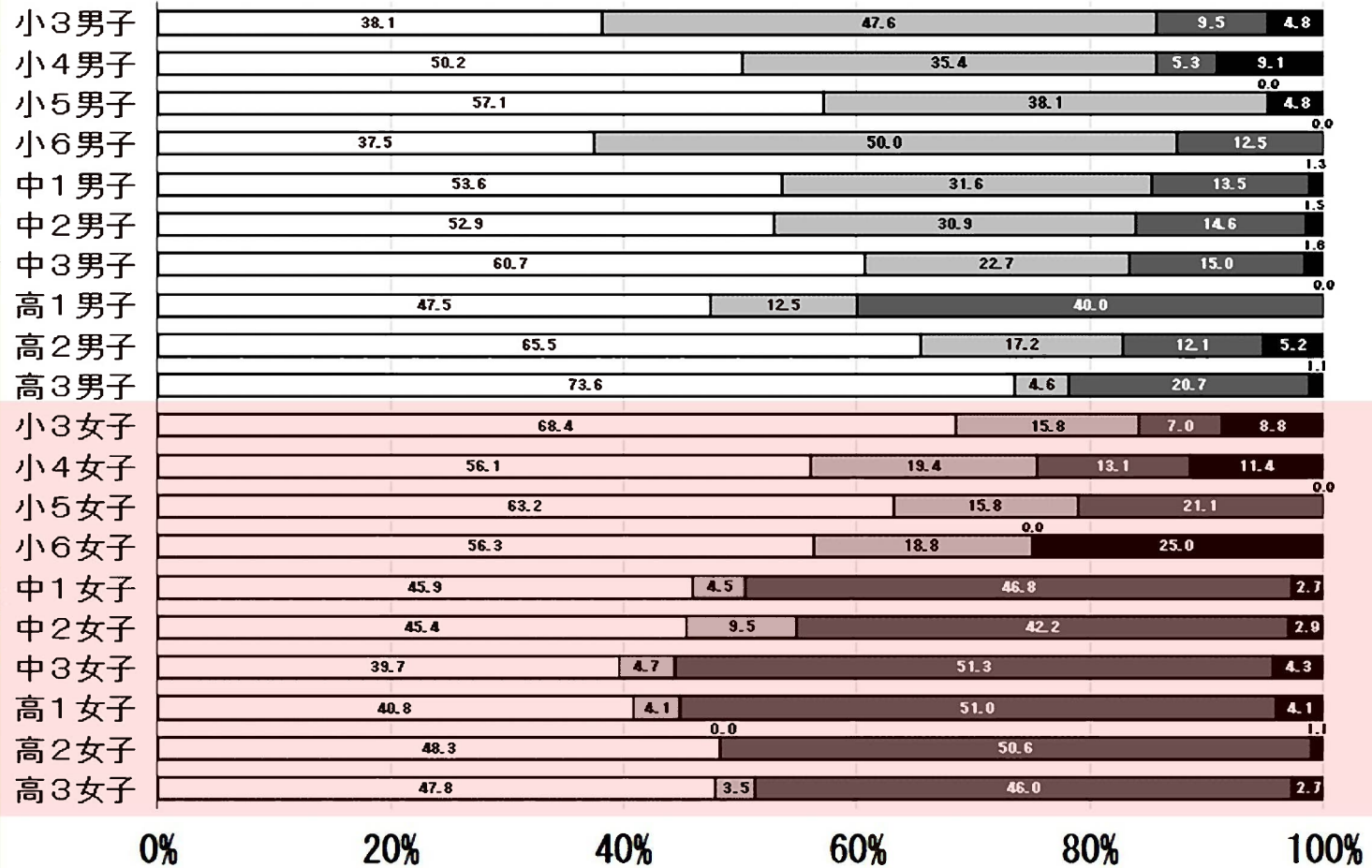
ネットで一番すること%

動画

オンラインゲーム

SNS

勉強



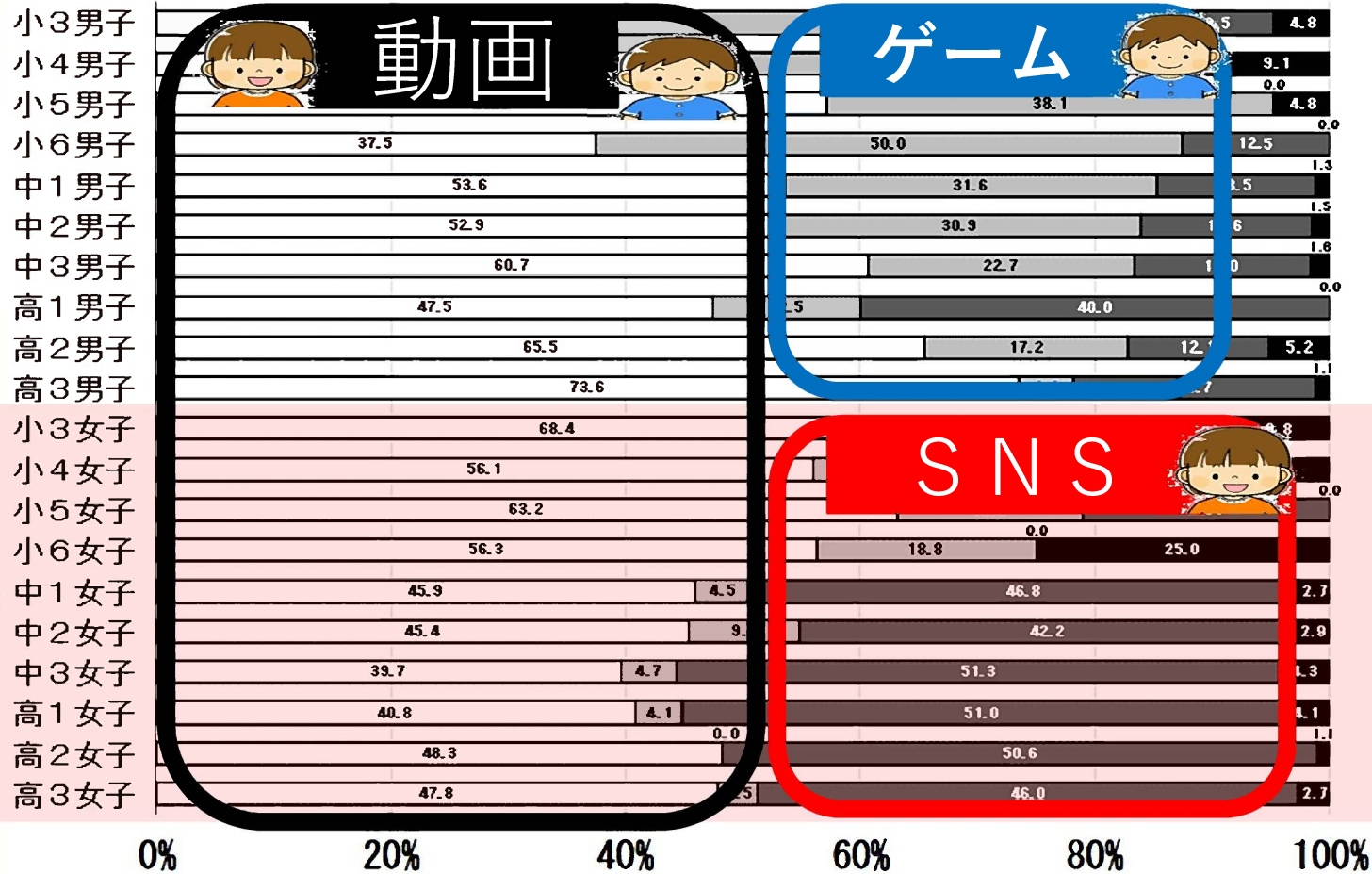
ネットで一番すること%

動画

オンラインゲーム


SNS

勉強



ネット依存傾向あり%

	中学生	高等学校
全国平均 2018年	12.4%	16.0%
尼崎市	25.3%	33.8%



活動 ②サミット

- ➡ 各学校から市・先生・親・自分たちへの提言作りと発表
- ➡ 意見交流


提言（市，国へ）

- ①「死ね」などの書き込みができないようにしてほしい。
- ②ゲームなどのやりすぎないように使用時間の制限をしてほしい。
- ③調べ学習がしやすいように、フィルタリングを弱めてほしい。




提言（先生へ）

- ①フィルタリングレベルと一緒に考えたい。
- ②授業でスマホを使えるようにしてほしい。
- ③ネットを利用した学習と黒板を使った学習の両方を活用した授業をしてほしい。



提言（親へ）

- ①長時間スマホを使っていたら注意してほしい。
- ②年齢に応じた制限を一緒に考えたい。
- ③勝手にスマホを見ないでほしい。
返信しないでほしい。

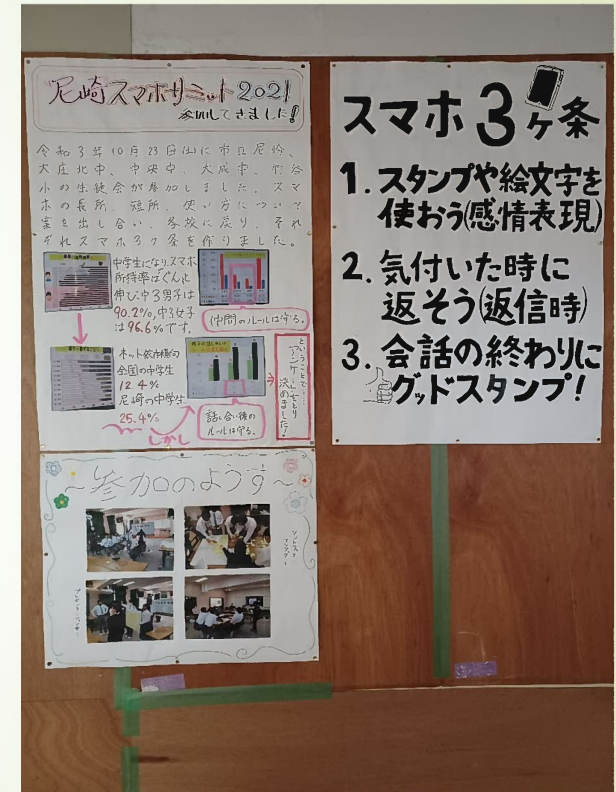


提言（自分たちへ）

- ① サイトを見てよいかダメか取り決めを作る。
- ② 使い方のルールを話し合って決める。
- ③ 知らない人と会わないようにする。
- ④ 勉強中、勉強しているところにスマホを置かない。

今後の活動として

- ▶ サミット参加校での取り組み
 - ネットルール3か条の作成
 - 自校での、活動発表（動画での共有）
 - ネットの中で使ってはいけないと思う言葉（10個）
 - 来年度も尼崎スマホサミットの開催



被害者にも加害者にもならないために・・・

直接的ないじめ → 間接的ないじめ（増加）
「死ね」言われた。 → 「死ね」書かれた。

- ★一人ひとりのモラルの向上
- ★ルールを作り、守ること